

40分/80点

選択肢問題であれば必要な要素が過不足なく入っている  
選択肢を選べばよいし、記述問題であればこうやって一つ  
ずつ説明した要素をすべて入れ、意味の通る文を作ればよ  
いことになります。

最後に

・「こと」という文末につながる

・十二字

という条件をすべて満たすことを確認しておきましょう。

問二

——線部2「いったいどうすれば、気にせず恥がかかるの  
か？」とありますが、筆者はこれに対してどのような提案  
をしていますか。説明した次の文の  ・  に入れ  
るのに適当な言葉を、問題文中からそれぞれ十字以内でぬ  
き出して答えなさい。

「人生を  であると考えて、  。」という言葉。

「筆者の提案」について具体的に説明せよ、という設問で  
す。そこから考えると、  には「○○すべきだ」とい  
う形、あるいは「○○するのがよい」「○○せよ」などの  
形が入ることが予想されます。

また、空らん前後の語句から、  には筆者が人生を何  
か別のものにとえた表現が入ることが予想されるでし  
ょう。

一般的に、説明文で「どうすれば○○できるのだろう」と  
いうような問題提起が行われた場合、次のことが言えます。

- ・筆者は答えを知っていて、読者に対して伝えたい
- ・問題提起の後に答えが提示されている場合が多い

したがって、素直に読み進めていきます。すると、直後に  
「そこで参考になるのがこの諺。」とあります。

この後、問五Yの解答となる「旅の恥はかき捨て」を、無  
知を解消するための参考にしよう、という主張が続いてい  
ます。

この段落を注意深く読んでいくと、——線部2の四行後に  
「人生は長い旅のようなもの」という直ゆがあり、さらに  
その一行前に「大胆に振る舞え」という命令形の表現が見  
つかります。

最後に、空らんに入れて全体を読み、意味が通ることの確  
認を忘れずにおきましょう。

一 【出典】小川仁志「小川仁志の^哲学思考^V実験室」

問一 恥のおかげで知を得られる(こと)

問二 1 長い旅のようなもの 2 大胆に振る舞え

問三 才

問四 絶対に忘れない知

問五 X 知らぬが仏 Y 旅の恥はかき捨て

問六 ウ・オ

問七 1 肩の荷がおりる 2 肩を落とす

3 肩を入れる

問八 1 A 2 E 3 B 4 F 5 C 6 D

ニ 1 オ 2 ウ 3 イ 4 エ

三 1 百面相 2 二枚目 3 別天地 4 風物詩

四 1 針小棒大 2 再三再四

3 付和雷同 4 絶体絶命

五 1 エ 2 オ 3 イ 4 ア 5 ウ 6 カ

六 1 オ 2 エ 3 イ 4 ウ 5 ア 6 カ

七 1 発心 心眼 眼鏡 鏡台 台地

着 着

2 完成 成果 果物 物体 体育

3 正当 当今 今朝 朝礼 礼節

【問題解説】

問一

——線部1「恥は新しいことを知るための代金のようなもの  
のだ」とはどういうことですか。解答らんに合わせて、問  
題文中から十二字でぬき出して答えなさい。

※解答らんに「こと」という文末がすでに書かれている

「どうということ」という設問の要求は、「詳細に説明せよ」

という指示だと読み取れます。

このような問題では、

①傍線部を適切な部分に区切る

②それぞれを詳細に説明する

という手順を踏みます。

今回は

恥は／新しいことを知るための／代金のようなもの  
のように区切れるでしょう。

この三つの部品では、比喩である「代金のようなもの」を  
説明することが一番重要なのはすぐにわかるはずで

「代金」とは、「買う人が品物を受け取る代わりに売る人  
に対して支払うお金」です。

ここでは「恥非代金」という説明になっていますから、「恥  
と引き換えに新しい知が手に入る」という意味になります。  
この形を探すと、——3の四行後に「せっかく恥のおかげ  
で知を得られるのに、〜」という表現が見つかります。



問三

1・2 に入る言葉の組み合わせとして、最も適当なものゝ次のア〜カから選び、記号で答えなさい。

選択肢

- ア 1 感情的 2 習慣的
- イ 1 感情的 2 積極的
- ウ 1 感情的 2 功利的
- エ 1 体験的 2 習慣的
- オ 1 体験的 2 積極的
- カ 1 体験的 2 功利的

「功利的」の意味を知らない受験生にはちよつと厳しいかもしれませんが。辞書的には「自分の利益ばかりを求めようとする様子」というような意味です。

ただ、「意味を知らない語句は基本的に判断の基準にはしない」ということを意識できていれば惑わされることはないでしょう。「自分にわかる部分でなんとか決着をつけられるように頑張る」ことが大切です。

本文の空らんをふくむ部分とその前後を引用します。

そのことを 1 に知っているのゝ、僕は 2 に恥をかくことにしている。名誉の負傷をするのだ。

この部分からわかる情報(やるべき作業)としては

①「そのこと」の指示内容把握

まずは「そのこと」の指示内容です。これは、同じ段落の一文目「そもそも、恥をかいて覚えたことは絶対忘れない」を指しています。

② 1

筆者が「恥をかいて覚えたことは絶対忘れない」ということをどのようにして知ったのかを考えれば良いでしょう。

↓本文一段落目「実際どれも経験したことがある」

③ 2

直後の「名誉の負傷」は「大義のために負傷する、あるいはマイナスを背負い、目的の実現につなげる」というような意味を持ちます。

「マイナスを背負う」とは、ここでは当然「恥をかく」ことを指します。それを「名誉」とプラスに表現しているのだから、「自分からどんな恥をかこうとする」という意味の言葉が入ることがわかります。

以上のことから、

- オ 1 体験的 2 積極的
- を選べば良いでしょう。

問四

線部3「名誉の負傷」とありますが、恥をかくことがなぜ「名誉」なことなのか。理由を説明した次の に入るのに適当な言葉を、問題文中の言葉を用いて、十字以内で答えなさい。

恥をかくことは、 を得たことを意味するから。

問三でも見たように、「名誉」という表現は恥をプラスにとらえていることを意味します。

プラスにとらえるからには良いところがなくてはいけません。したがって、筆者が「恥をかくこと」によって得られたプラスのものと表現している内容を探していけば良いことになります。

1 の二行前「恥をかいて覚えたことは絶対忘れないものだ」が条件に合う表現です。

「絶対忘れない」をベースにして、字数も意識してまとめましょう。文末は「こと」でも「知」でも良いと思われませんが、本文で「知を得る」という表現があることから、「知」の方が望ましいと考えられます。

問五

△ X △ V △ Y △ V に入ることをわざと答えなさい。

それぞれ、空らんを含む文を引用します。

△ X △ V という。裸の王様も、「王様は裸だ」といわれるまでは満足だった。

△ Y △ V。普段なら恥ずかしくてできないことも、旅先ならできてしまう、やってしまうという意味だ。

答え自体は難なく出るレベルのものでしょう。

△ X △ V の次の文にある「も」という並列の助詞は、読解において大きなヒントにつながる人が多いものです。たった一字ですが、普段から意識しておくべきです。



問六

~~~~~線部 a 「無責任」とありますが、次のア～キのうち、頭に「無」をつけられるものをすべて選び、記号で答えなさい。

選択肢

- ア 開発
- イ 自由
- ウ 造作
- エ 使用
- オ 気力
- カ 公開
- キ 完成

単純に、すべての選択肢の頭に「無」をつけて検討すれば良いでしょう。

頭につけて否定の意味を添えるものには「不・無・非・未」があり、「二つ以上の否定の字がつけられるもの」を問う問題などもよく出題されます。

- ×ア 無開発 ↓「未開発」
- ×イ 無自由 ↓「不自由」
- ウ 無造作 「造作もない」も知っておきたい。
- ×エ 無使用 ↓「不使用」「未使用」
- オ 無気力
- ×カ 無公開 ↓「未公開」「非公開」
- ×キ 無完成 ↓「未完成」

問七

~~~~~線部 b 「肩身の狭い」とありますが、次の 1～3 の意味になる言葉を「肩」を用いて答えなさい。

- 1 重い責任や負担から解放されて楽になる。  
↓「責任や負担を負う」ことを「肩にかかると表現します。そのような重荷(責任や負担・義務)から解放されるということから考えると良いでしょう。
- 2 がっかりして力がぬける。  
↓似たような表現に「肩すかしを食らう」がありますが、こちらは「がっかり」というニュアンスからは少し外れるかもしれません。
- 3 好意をもってひいきする。  
↓ほぼ同じ表現に「肩を持つ」があり、どちらも「ひいきする」という意味を持ちます。辞書的には「肩を持つ」が「対立する者の一方をひいきする」という意味になることから、「好意をもって」との整合性を考え、「肩を入れる」を正答例としています。

体の一部を使う慣用句は非常に多いですが、特定の部位を含む慣用句をまとめておくと効率よく覚えることができます。

灘中では毎年のように出てくる单元なので、量は膨大ですがコツコツ覚えておくことが大切です。

問八

~~~~~線部 c 「プラス」とありますが、これは「ス」で終わる外来語です。次の 1～6 の文の ( ) に入れるのに最も適当な「ス」で終わる外来語を、後の A～F から選び、記号で答えなさい。

- 1 自然の豊かな公園は、都会の人々の心に安らぎをあたえる ( ) だといえるだろう。
- 2 いくら高い服でも、選ぶ人の ( ) が悪いと、あまりいいものには見えない。
- 3 平日昼間と比べると、( ) 街の休日は、ほとんど人通りがない。
- 4 報道された情報の ( ) は明らかにされていない。
- 5 気楽に参加した討論会だが、予想外に ( ) な内容でどろいた。
- 6 ( ) の効いた皮膚は会話の中で有意義な役割を果たす。

選択肢

- A オアシス
- B オフィス
- C シリアス
- D スパイス
- E センス
- F ソース

- 1 心に安らぎ ↓オアシス
- 2 悪い ↓センス
- 3 平日に人通りがない ↓ オフィス
- 4 情報の ↓ソース
- 5 気楽・予想外 ↓ シリアス
- 6 効いた・皮肉 ↓ スパイス

頭文字が示されて自分で書くタイプの問題であれば「オアシス」「シリアス」「スパイス」あたりは出てきにくいかもしれませんが、選択肢になっているため難易度はかなり下がっています。

二

次の 1～4 の言葉を用いた文として、正しいものをそれぞれ後のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- 1 足が出る  
「足」には「お金」という意味があります。したがって、「足が出る」は「予算オーバーになる」という意味になります。
- ア 算数や理科は得意だが、国語にはなかなか足が出ない。  
↓「手が出ない」が正しい。
- イ 学校に慣れ、勉強も足が出てきたと先生にほめられた。
- ウ 一年生部員の中で、A君の実力はひとつ足が出ている。  
↓「頭ひとつ抜け出す」が正しい。
- エ 朝早くから畑に出て、足が出る働きぶりに感心した。  
↓「精が出る」が正しい。
- オ みんなが予定より多く食べたので、旅行代は足が出た。  
↓「予算オーバー」という意味になり、正しい。



2 口をつぐむ

「つぐむ」は漢字で「噤む」と書きます。「口をつぐむ」で「しゃべらない」という意味になります。

ア みごとな演技に、審査員は口をつぐんで絶賛した。

↓「口をそろえて」が正しい。||異口同音

イ 前もって口をつぐんでいたのて話は早くまとまった。  
↓「口(裏)を合わせて」が正しい。

ウ 五年前の事件について、関係者は口をつぐんだ。

↓「話そうとしない」という意味になり、正しい。

エ うっかり口をつぐんで、秘密を打ち明けてしまった。

↓「口をすべらせて」が正しい。

オ 目上の人と話すときは、口をつぐむのが礼儀だ。

↓「口をつつしむ」が正しい。

3 手をこまぬく

「こまぬく」は「拱く」と書き、「腕組みをすること」が本来の意味です。ここから転じ、「何もせず傍観していること」という意味で用いられます。近年では「こまぬく」という読みの方がよく用いられています。

ア たまの休みには、しっかり手をこまぬくことも必要だ。

↓文脈としては「体を休める」が正しい。

イ 友達が困っていても、手をこまぬいているだけだった。

↓「何もしない」という意味になり、正しい。

ウ この料理は、さりげなく手をこまぬいて作ってある。

↓「手をかける」が正しい。

エ 手をこまぬくことを覚えると、何事も上達しない。

↓「手をぬく」が正しい。

オ そこに気がつくとは、さすが手をこまぬいているね。

↓文脈としては「よく知っている」という内容が入るはず。

4 目が高い

「目」は「見る目・鑑賞眼」のことです。相手の見識の高さ、よく知っている／気づくことをほめる尊敬表現です。相手に対し「お目が高い」という言い方で使われることの多い表現です。

ア つい目が高くなって、にせ物をつかまされてしまった。

↓「目がくもる」が正しい。

イ そんな目が高い言い方をすると、友達にきらわれるよ。

↓「上から目線」を連想させようとしている形か。

ウ かれは目が高い性格で、他人の失敗を絶対見逃さない。

↓「目が高い」は性格を表す表現ではない。「目ざとい」

などにすべきか。

エ そのバイオリンを選ぶとは、君はなかなか目が高いね。

↓相手の見る目の確かさをほめているので、正しい。

オ いい物だと思ったが、値段を聞いて目が高くなった。

↓「驚く」という意味なら「目(玉)が飛び出そうになった」が正しい。

三

次の1〜4の意味を表す三字熟語を、後の「語群」から三字を選び、組み合わせさせて答えなさい。ただし、同じ漢字はくり返して使えません。

〔語群〕

詩 二 相 地 天 枚 百 風 物 別 目 面

三字熟語も、二字や四字の熟語と同じく全体の意味に関係のある字が使われてできあがっています。

まずは三つ取り出して知っている三字熟語を作ってくださいですが、行き詰まったときは「語群内の字と説明の文の対応」を考えて候補をしばらくこんでいくと良いでしょう。

1 顔の表情をいろいろに変えること。

顔||面、いろいろ(多い)||十、百、千、などの情報から「百面相」が導けます。

2 美しい顔だちの男性。

「二枚目」はもともと歌舞伎用語で、美男子を指す言葉です。ちなみに、一枚目は主役、三枚目は道化役(こっけいな役)を指します。

3 この世とは思えないほどすばらしい場所。

場所||地、この世とちがう||別、あたりで「別天地」にたどり着けるでしょうか。似たような表現に「新天地(新しく向かう活躍の場)」があります。

4 季節の感じをよく表しているものごと。

「風物詩」という表現は論説文や他の語句問題でも頻繁に目にする単語だと思えます。即答レベルでしょう。「風物」は「季節や土地に特有なもの」といった意味です。

四

次の1〜4の言葉に近い意味を持つ四字熟語を、後に示す「四字熟語の一部」から選び、それを完成させて答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

〔四字熟語の一部〕

再□再□ 針□棒□ 絶□絶□

馬□東□ 付□雷□ 油□大□

1 大風呂敷を広げる

2 口をすっぱくする

3 しり馬に乗る

4 風前のともしび

まずは四字熟語を完成させておきましょう。特に難しい物はありません。



再三再四 針小棒大 絶体絶命  
馬耳東風 付和雷同 油断大敵

後は、意味に合わせて選ぶだけです。

1 針小棒大

|| 針のように小さい物事を棒のように誇張して言う

2 再三再四

|| くり返して何度も何度も

3 付和雷同

|| 「付和」はすぐに人の言葉に合わせようとする事、「雷同」は雷が鳴るとあらゆる物がそれに応じて動く(ゆれる)こと。

4 絶体絶命

|| 「ぜったい」で「体」を使うのはこの四字熟語のみです。「絶対」は「対比する相手が絶えた(ない)状態」を表し、「他の物に関係なくそれだけで存在したり評価が決まったりする様子」を表します。対義語は「相対」です。

五

次の1〜6の俳句の [ ] に入れるのに最も適当なものを後のア〜カから選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

著作権の関係から、俳句は一句すべてを表示することができません。したがって、句中のキーワードからどう答えを決定するかについて解説します。

問題をお手元に置いてお読みいただければと思います。

選択肢

ア 門の松 イ 寒鴉 ウ 芒原  
エ 初詣 オ 虫の声 カ 雪の原

1 愛犬・お守り エ

↓ 初詣に行つて、自分たち人間だけでなく愛犬の分のお守りも受ける様子。

2 夜道

↓ 「虫の声」「虫の音」は秋の季語。犬を連れて散歩する道中、暗い中に虫の声だけが響いている、という情景。

3 留守・狙いて イ

↓ 犬が小屋を空けた一瞬のすきに、犬小屋にしのびこんでえさを奪い取ろうとする鴉、という構図。

4 かくれんぼ ア

↓ 門松の裏にかくれて犬の姿が見えなかった。まるでかくれんぼをしているようだ。

5 放たれて・風 ウ

↓ 犬が首輪を外してもらって、すすきの生えた秋の原っぱを元気いっぱい、風のように走り回っている。

6 沈没・躍り出づ カ

↓ 雪の中に飛び込んだ犬。一回雪の中に沈んだように見え、踊るように飛び出てくる。

空らん補充の問題では、「複数当てはまりそうな選択肢が考えられる空らんは後回し」が大原則です。俳句の問題だけでなく、接続詞や副詞の空らん補充問題でも同じように対応しましょう。1・3・5・6あたりの、比較的情景が思い浮かびやすい物から攻めていくと良いでしょう。

六

「遅れを取る」のように、「くを取る」という表現には、さまざまなものがあります。次の1〜6の各文の [ ] に入れるのに最も適当な言葉を、後のア〜カから選び、記号で答えなさい。ただし、同じものはくり返して使えません。

1 サッカーの試合で [ ] を取って、格下の相手に負けてしまった。

2 私は英語の実力ではかれに [ ] を取ることはない。

3 母親の [ ] を取って、臨時のおこづかいをせしめた。

4 かれの音楽の才能はかなりすばらしいもので、やがてこの世界で [ ] を取るだろう。

5 わずかな言いまちがいののに、 [ ] を取られて、つ

いいらいらしてしまった。

6 医者になったわが子に [ ] を取ってもらうなんて、

親としてこの上ない喜びだ。

選択肢

ア あげ足 イ きげん ウ 天下  
エ ひけ オ 不覚 カ 脈

あげ足を取る 5

↓ ちよつとした失敗を取り上げて相手を責めること。

きげんを取る 3

↓ 人に気に入られるような行動をして、いい気分させること。

天下を取る 4

↓ ある分野において頂点をきわめること。トップに立つこと。

ひけを取る 2

↓ 負ける、劣る。多く「ひけを取らない」の形で使われます。

不覚を取る 1

↓ 油断して思わぬ失敗をすること。

脈を取る 6

↓ 脈をはかること。



七  
後の「条件」にしたがって、次の1〜3の漢字しりとりを完成させなさい。

- 1 発 A—A X—X Y—Y B—B 地
- 2 完 A—A X—X Y—Y B—B 育
- 3 正 A—A X—X Y—Y B—B 節

「条件1」A・Bは二回とも音読みです。読み方は変わってもかまいません。

「条件2」Xの1回目、Yの二回目は音読みです。

「条件3」XYは、「昨日」(きのう)、「時計」(とけい)のように、熟語としての特別な読み方をする場合のある組み合わせです。

「条件4」Xは次の五字から選びなさい。

下 果 眼 清 今

「条件5」XYの熟語としての特別な読み方の最初の一字は、「へ・く・け・し・め」のうちのいずれかです。

(例) 乗 A—A X—X Y—Y B—B 術

「答え」 A「降」 X「下」 Y「手」 B「術」

(「下手」の特別な読み方は、「へた」)

条件付きしりとりの大原則は

「(自分にとって) 使いやすい条件だけ使って考える」

「答えを出すために使わなかった条件は、答えの確定時に必ず使う」

の二つです。

条件に当てはまるもの、という限定に従って考えると候補は出てきにくくなりますが、いったん候補が見つければそれがそのまま答えになる確率は高まります。

条件はとりあえず無視してしりとりを作ることだけに集中するという攻め方の場合は、しりとり自体は作りやすくなる可能性があります。できあがった解答が条件を満たさないことも考えられます。

多くの場合、解答に使われる語句は受験生なら一度は目にしたことのあるものばかりです。「知ってはいるが出てこない」をできるだけ防ぐには、「やるべき作業」をしぼって、ひたすら鉛筆を動かすことが効果的です。

音読みになりやすい読みの特徴をいくつか挙げておきます。

・「ン」で終わる二字の読み(例外あり)

例) 卷(カン)、金(キン)、訓(クン)

↓「訓読み」という言葉の「訓」という字は音読みです。

【例外】神(かん)、問(とん)、何(なん)、四(よん)

・発音すると「一音の長音」になる読み(例外あり)

例) 高(こう↓コー)、軽(けい↓ケー)、通(つう↓ツー)

【例外】タ(ゆう)、十(とお)

・小さい「ャユョ」が入る読み

例) 町(チヨウ)、京(キョウ)、主(シュ)  
この問題では、「条件3」「条件4」「条件5」をうまく使って、XYに入る語の候補を先にいせれば、そこをしっかりとりにして攻めていけるのではないかと思います。

☆熟字訓(熟語全体で特別な読み方をする言葉)

漢字一字一字に読み仮名を割り当てられないもの(全体で決まった読み方)を言います。

他の熟字訓をいくつか挙げておきます。

二人(ふたり)・昨日(きのう)・七夕(たなばた)・竹刀(しない)・迷子(まいご)・時雨(しぐれ)・師走(しわす)・山車(だし)・仲人(なこうど)・大人(おとな)

読み方の最初の一字が「へ・く・け・し・め」なので、それで始まる熟字訓を考えてみます。割とすんなり出てくるのではないかと思います。

- へ 下手(へた)
- く 果物(くだもの)
- け 今朝(けさ)
- し 清水(しみず)
- め 眼鏡(めがね)

おそらく、「条件1」「条件2」は、答えが出そろった後で確認した方が効率良く進められるでしょう。

行き詰まったときの打開策として

・読みを固定せず、ちがう読み方を試してみる  
たとえば、「発」は「ハツ」の他に「ホツ」と読み、「発作」などの語句が考えられます。漢字パズルの問題は、「ちがう読み候補」に目が行けばすんなり解けることが増えてきます。逆に、一つの読みにこだわるとせつかく答えが出てきているのに「こんな言葉はない」と考えてしまうようなミスも発生します。

また、このような問題への対応力をつけるには、普段から漢字の学習時に「この字を使った別の熟語はないか」と意識しておくといいでしょう。

